

3月2日(月)

令和八年度 別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類 入学試験問題

# 一般常識・小論文

## ―注意事項―

- 1 問題は3ページ、解答用紙は1枚である。
- 2 解答はすべて別紙解答用紙に縦書きで記入すること。
- 3 試験時間は60分である。

Z29A・Z29B



1 次の空欄

1

20

にあてはまる適切な語句を、別紙解答用紙に記入しなさい。(四〇点)

- ① 和銅三(七一〇)年に元明天皇は藤原京から奈良盆地北部の地に遷都した。この宮都は、1京である。
- ② 室町時代には三代将軍の足利義満の時代に北山文化が形成されたが、その北山文化を代表する建造物の一つに京都北山の北山殿(のちの鹿苑寺)に営んだ壮麗な三層の楼閣として知られる。2閣がある。
- ③ 天文十二(一五四三)年にポルトガル人を乗せた中国人の船が種子島に漂着したことによって、島主の種子島時堯ときたかがヨーロッパ人から購入し、その後、戦国大名の新鋭の武器として急速に普及することで合戦のあり方を大きく変えたものは、3である。
- ④ 永祿三(一五六〇)年に桶狭間の戦いで今川義元に勝利し、その後「天下布武」の印判を用いて全国統一の事業を進め、室町幕府を滅ぼして畿内平定を果たしたものの、天正十(一五八二)年に起こった本能寺の変で倒れた戦国武将は、4である。
- ⑤ 寛永十四(一六三七)年に、飢饉のなかで領民に過酷な年貢を課し、5教を弾圧したことに抵抗した土豪や百姓の一揆として知られるのは、島原の乱である。
- ⑥ 江戸時代には社寺への庶民の参詣が盛んとなり、数十年に一度、多数の民衆が爆発的に現在の三重県にある6神宮に参詣したが、この参詣行動をおかげ参り(お蔭参り)という。
- ⑦ 岩倉使節団に随行した日本最初の女子留学生の一人で、帰国後女子教育に尽力し、令和六(二〇二四)年七月から使用されている五千円札の肖像に描かれている人物は、7である。

- ⑧ 大正十二（一九二三）年九月一日午前十一時五十八分に発生したマグニチュード七・九の大地震によって、東京や横浜を中心に約十万人余の死者、約四万人以上の行方不明者を出したが、近代以降最大の被害をもたらしたこの震災の名称は、8 大震災である。
- ⑨ 静岡県と山梨県にまたがる成層火山で標高三、七七六mの日本で最も高い山は、9 である。
- ⑩ 積乱雲などが通過するなどして限られた地域で短時間に大量に強い雨が降ることを 10 豪雨と呼ぶ。
- ⑪ 国内で生産された品物・技術・文化などを外国に送り出すことを 11 という。
- ⑫ 令和六年に行われたアメリカ大統領選挙に勝利し、第四十七代大統領となった人物の名前は、ドナルド・12 である。
- ⑬ 日本国憲法の三大原則は、国民主権、基本的人権の尊重、13 主義である。
- ⑭ 支出より収入の方が多く、利益があることを 14 字という。
- ⑮ 報酬や見返りを求めることなく、自己の意志によって自発的に行う奉仕活動のことを、15 という。
- ⑯ なす術<sup>すべ</sup>がなく、困り果てている様子を示す慣用句を「手も 16 も出ない」という。
- ⑰ 厳しく監視することを示す慣用句を「17 を光らす」という。
- ⑱ 職務や任務がその人にぴったり合っている、もしくは合ってきたことを示す慣用句を「18 につく」という。

⑲ 世間のうわさは防ぐのがなかなか困難であることを示す慣用句は、「人の [19] に戸は立てられぬ」である。

⑳ 以前にもなく、今後もないと思われる珍しい物事を示す四字熟語は、「 [20] 絶後」である。

**2** 次の質問二題について答えなさい。(六〇点)

① 別科を受験した動機と、入学した後どんなことを学び、実践してみたいかについて二〇〇字程度で述べなさい。

② 将来、神職資格を取得して神社に奉職した際に、あなたが取り組んでみたい活動を三〇〇字程度で詳しく述べなさい。





